

NEW SOPHIA

ニューソフィア



満開の桜(本館玄関前)

平成20年度入学式	2
平成20年度新入生研修会	3・4
全国初!短大に“口腔保健学士”認定専攻科スタート	5
慶熙大学校歯科大学学生、本学で研修	6
平成19年度卒業式・表彰者紹介	7
FROM THE ALUMNI ASSOCIATION 同窓会だより	8
HI FROM CLINICS クリニックからこんにちは	9
FROM PARENTS 保護者からのメッセージ	10
栢短大学長、再任／定年退職者の挨拶	11
平成21年度入試日程／平成20年度オープンキャンパス	12

福岡歯科学園ホームページも
ご覧ください。

<http://www.fdcnet.ac.jp>

平成20年度入学式 入学おめでとう、福岡歯科大学



平成20年度福岡歯科大学歯学部および大学院の入学式は4月4日、来賓並びに父兄列席のもと本館講堂で挙行されました。

緊張の面持ちの歯学部新入生96人に対し、本田武司学長は「意欲を持って勉学に取り組むことはもちろんであるが、その前に一般常識をわきまえた社会人であってほしい。また、全身の中の口腔という分野を専門に扱う医療人として高い倫理

観と責任感を持って、予防・診断・治療ができ、患者さんの気持ちも充分理解できるような医療人を目指してほしい。」と期待を述べました。

10人の大学院入学生に対しては、「目標達成のためには失敗を恐れず、強い信念をもってやり遂げてほしい。また、自分の実体験を後輩へ伝え、後継者の育成にも努めてもらいたい。」と述べました。



ようこそ福岡医療短大へ



福岡医療短期大学の平成20年度入学式は、キャンパスに桜が咲き誇る4月8日、福岡歯科大学本館講堂で執り行われました。

式辞の中で栢豪洋学長は「本学は、他大学にはない、同一キャンパス内に医科歯科総合病院、介護老人保健施設、特別養護老人ホームが設置されており、そこでの実習を通じて、介護のできる歯



科衛生士、口腔ケアもできる介護福祉士の養成に力を注いでいます。将来、患者さん、高齢者や介護が必要な方々にやさしい心と細かな心配りで接することができる歯科衛生士、介護福祉士になってもらいたい。」と述べ、希望に胸をふくらませた120人（歯科衛生学科86人、保健福祉学科25人、専攻科9人）の新入生にエールを送りました。

短大歯科衛生学科、登院式

福岡医療短期大学歯科衛生学科の平成20年度登院式が、4月10日、福岡歯科大学講堂で、来賓、法人役員、教職員、父兄らが参列し、執り行われました。同学科第3学年97人は一人一人壇上に上がり、緊張した面持ちで栢学長から戴帽を受けました。いよいよ医科歯科総合病院での臨床実習が開始され、歯科衛生士に向けての実践的な第一歩が始まりました。



戴帽を受ける学生

福岡歯科大学新入生研修会

4月11日、12日の2日間、平成20年度新入生研修会が国立阿蘇青少年交流の家で実施され、『現代文明論』講義、理事長・学長講話、阿蘇登山や禅寺での座禅・講話があり、新入生および助言教員との親睦を図るなど盛りだくさんな研修会となりました。



禅寺での座禅と講話、足がしびれてきた…



理事長による講話、気が引き締まります!



親睦を深める班別懇談会。



朝の体操、イキ・ニー・サ>・シー!



福岡医療短期大学新入生研修会

4月11日、12日の2日間、平成20年度新入生研修会が国立阿蘇青少年交流の家で実施され、歯科衛生学科と保健福祉学科それぞれに、火山博物館、大観峰見学やスタンプラリーで親睦を深めました。

歯科衛生学科



会話が弾ぶ食事タイム!



朝礼、まだ眠たいな...



頼れる先輩、専攻科生の紹介。

保健福祉学科



毎年盛り上がるレクリエーション!



スタンプラリーで優勝!! 記念撮影☆



雄大な自然を感じる阿蘇!!



全国初! 短大に“口腔保健学士”の 認定専攻科スタート

福岡医療短期大学の専攻科(平成11年度開設、定員10名)は、全国に先駆けて、口腔保健衛生学¹⁾の専攻科として独立行政法人大学評価・学位授与機構の認定を受け、平成20年度から新たなスタートを切りました²⁾。同専攻科では、口腔保健管理学、先端臨床歯科学、口腔介護特論、健康の科学、社会保障特論、老人・障害者福祉論、情報処理演習、英会話等の授業のほか、福岡歯科大学医科歯科総合病院や介護施設での臨床実地や専攻研究を通して、新時代の歯科衛生士のリーダー養成を目指します。

専攻科を修了し、論文審査と小論文試験に合格すると「学士」の学位が授与されます³⁾。これにより、国内外の大学院への進学が可能となり、自己のキャリアアップのほか、口腔保健衛生学分野の充実に大きな影響を与え、ひいては、国民の口腔衛生の向上に寄与することが期待されます。また、高等教育機関や医療現場、公的機関は、教育や臨床現場で活躍している歯科衛生士がキャリアアップできる環境を整備することが求められています。

1) 口腔保健衛生学は、「口腔保健学」の中の歯科衛生士の専攻区分を示します。「**口腔保健学**」は、独立行政法人大学評価・学位授与機構に学位を申請する専攻分野として、新たに開設されたものです。

2) 平成20年4月より、独立行政法人大学評価・学位授与機構に、「学士(口腔保健学)」の学位授与制度が新設されました。これにより、歯科衛生士課程(3年制)の短期大学卒業生や専門学校修了者が、同機構の認定する専攻科(1年制)等で単位を取得後、審査に合格すれば、4年制大学卒業と同じ「学士」の学位を申請できるようになりました。これまでは、歯科衛生士独自の専攻分野がなく、他の分野で「学士」の取得を目指すしかなかった。

3) 歯科衛生士を養成する短大は全国に14校あり、そのうち3校に専攻科が設置されています。独立行政法人大学評価・学位授与機構が認定する専攻科は、福岡医療短大の“専攻科歯科衛生学専攻”のみです。

短期大学基準協会から 短期大学評価基準適格認定



福岡医療短期大学は平成19年度、短期大学基準協会による認証評価を受審し、その結果がこのほど公表され、評価基準を充たしていると認定されました。特に①教育課程は病院や福祉施設の現場で専門職として活躍できる人材の育成を期して体系的に編成され、併設施設の有効活用でさらに教育効果を挙げている、②教員の総力によるきめの細かい教育サービスが提供されている、③研究活動も活発で歯科衛生学科と保健福祉学科両学科共同で口腔介護勉強会を開催し「口

腔介護」を共通の研究課題として取り組んでいる、また両学科の相互乗り入れ授業への取り組みが平成18～20年度の文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」として採択されたことなどが、高く評価された事由です。

平成16年から、すべての大学、短大等は教育研究水準の向上に向け、7年以内ごとに文部科学大臣が認証した評価機関による評価(認証評価)を受けることが義務付けられました。

短大特色GP第4回 「口腔ケア実践教室」を開催

3月23日、「明日から役立つ食支援」をテーマに第4回口腔ケア実践教室が開催されました。今回は歯科医師平塚正雄氏による講演「介護予防のための機能的口腔ケア」の後、堀部准教授らによる口腔ケアの実技講習が行われ、地域の介護職員などが参加しました。これは、平成18年度に福岡医療短期大学が文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」に選定された地域啓発事業のひとつです。



FD講演会を開催

3月28日、福岡歯科大学カリキュラム・FD委員会、大学院研究科運営委員会共催で「歯科界の現状と将来について」(講師:赤石健司、朝日大学副学長)をテーマにFD講演会が行われました。歯科界の厳しい現状を踏まえ、これからの歯科医師はどうすればよいのか示唆に富む講演に参加者も熱心に聞き入っていました。



歯科医師臨床研修がスタート

4月1日、平成20年度歯科医師臨床研修開始式が602講義室で執り行われ、53人が辞令を受け臨床研修歯科医師として研修を開始しました。研修は、単独型、複合型プログラムとあり、本学・医科歯科総合病院および協力病院において来年3月まで行われます。



「挨拶の言葉」を述べる石川病院長

慶熙大学校歯科大学の教員と学生が本学で研修

1月6日～19日の間、姉妹校である慶熙(キョンヒ)大学校歯科大学から教員2人ならびに6人の学生が本学で研修のため来学しました。これは、昨年度から始まった慶熙大学校歯科大学との学生間相互交流が実現したもので、昨年10月には本学大学院生4人と教員2人が慶熙大学校歯科大学で2週間研修を行いました。

韓国では学制が日本と異なり、今回来日した6人の学生は、日本では大学院生に当たります。

彼らは2グループに分かれて本学医科歯科総合病院の各診療科での研修を行い、6つの特別講義を受講しました。本学5学年の臨床実習生に混じって臨床講義を受けるなどしましたが、日本語に堪能な学生もいて、楽しく交流ができました。

また、一泊二日の唐津・長崎旅行では、茶道体験や神社でおみくじを引いたり日本の文化に触れるなど、充実した学生交流となりました。



臨床実習の講義を受講

上海交通大学派遣学生の「結団・壮行会」

3月14日、理事長室で16日～23日まで上海交通大学へ派遣される学生9人、引率教員2人に対する「結団・壮行会」が執り行われ、田中理事長、本学学長から激励を受けました。これは、

上海交通大学口腔医学院との相互交流の一環として派遣されるもので、4月13日～20日には、上海交通大学口腔医学院から教員3人と学生5人が本学で研修を行いました。



平成19年度福岡歯科大学臨床研修歯科医海外研修報告

総合歯科学分野 教授 廣藤 卓雄 講師 内藤 徹

平成19年度臨床研修歯科医海外研修は、平成20年3月1日～3月10日の日程で米国カリフォルニア州で行われました。研修には10人の臨床研修医が参加し、総合歯科から廣藤教授と私が引率として同行しました。本プログラムは、



今回の研修参加の研修医と引率、コーディネーター：ロマリダ大学歯学部にて

米国の最新の診療体系を体験するとともに、ホームステイによってコミュニケーションおよび生活体験を行うことを目的とした、1年間の研修のまとめのひとつと位置づけられています。

研修を行った主な歯科医療施設は、ロマリダ大学、カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)の2大学に加え、ロマリダ市近郊の診療施設7か所、実際にインプラント、歯周外科などの手術を見学する機会もありました。UCLAでは、Dr. Hatanoによる講義「The Art of Dentistry」を受けCertificate(受講証)を頂きました。UCLA顎顔面補綴では、日焼けする夏用、室内光のDinner用などの予備の顔面補綴物まで用意するというSugiura-Baba先生のお話しに、一同感嘆して聞いておりました。

引率の我々にとっても、米国の歯科事情をここまで仔細に見学したことがなく、新鮮な切り口で米国歯科を考えてみる良い機会になりました。

最後に、研修にあたりご配慮を賜りました関係者各位に深く感謝いたします。



歯科医院で見学実習をする研修医：Hospitality Dentistry Group San Bernardinoにて

海外研修派遣

【福岡歯科大学】平成19年度

所属分野	職名	氏名	用務	派遣先	派遣期間
口腔インプラント学 冠橋義歯学 口腔顔面美容医療センター	准教授 講師 講師	城戸 寛史 松永 興之 長島 義之	1.Academy of Osseointegration Annual Meetingにて発表 2.ニューヨーク大学においてインプラント研修受講	ボストン ニューヨーク (アメリカ)	自:H.20.2.27 至:H.20.3.6
感染生物学	准教授	長 環	第9回アメリカ微生物学会主催カンジダとカンジダ感染症国際会議にて発表	ニューヨーク (アメリカ)	自:H.20.3.23 至:H.20.3.30
総合歯科学	教授 講師	廣藤 卓雄 内藤 徹	平成19年度臨床研修歯科医海外研修者(10人)の引率及びロマリダ医科大学歯学部、カリフォルニア大学ロサンゼルス校歯学部の視察並びに現地デンタルオフィス関連施設の訪問視察	ロマリダ ロサンゼルス (アメリカ)	自:H.20.3.1 至:H.20.3.10
画像診断学 歯科保存学	教授 准教授	湯浅 賢治 泉 利雄	上海交通大学への派遣学生(9人)の引率及び今後の両校の学術交流の協議等	上海 (中国)	自:H.20.3.16 至:H.20.3.23
口腔腫瘍学 口腔外科学	教授 講師	大関 悟 泉 喜和子	ミャンマーにおける医療援助活動・技術指導及び大学間姉妹提携の打ち合わせ	ヤンゴン マンダレー (ミャンマー)	自:H.20.3.16 至:H.20.3.31

【福岡歯科大学】平成20年度

所属分野	職名	氏名	用務	派遣先	派遣期間
総合歯科学	准教授 大学院生	米田 雅裕 岩元 知之	1.37th Annual Meeting of the American Association for Dental Researchにて発表 2.Prof.Howard K.Kuramitsuと研究打ち合わせ	ダラス (アメリカ)	自:H.20.4.1 至:H.20.4.7
歯周病学 冠橋義歯学 分子機能制御学	教授 教授 教授	坂上 竜資 佐藤 博司 北村 憲	University of Nevada Las Vegas School of Dental Medicine(ラスベガス)、University of California, Los Angeles(ロサンゼルス)、The University of British Columbia(バンクーバー)への臨床系実習ソフトウェア視察	ラスベガス・ロサンゼルス (アメリカ) バンクーバー(カナダ)	自:H.20.4.6 至:H.20.4.13
冠橋義歯学	講師 助教授 大学院生	石川 昌嗣 郷友 規士 福岡 宏	Academy of Laser Dentistryでの認定研修プログラム(Standard proficiency)に参加し、最先端医療分野に挙げられているレーザー治療およびレーザー歯科医育成教育、学生教育について研修 レーザーの骨組織への影響における研究についての情報収集と意見交換	サンディエゴ (アメリカ)	自:H.20.4.7 至:H.20.4.14
総合歯科学	講師	内藤 徹	米国歯科医師会Evidence-Based Dentistryカンファレンス、および第3回Evidence-Based Dentistry国際カンファレンス出席	シカゴ (アメリカ)	自:H.20.5.1 至:H.20.5.6
成育小児歯科学	准教授	尾崎 正雄	The 49th Annual Meeting of the Korean Academy of Pediatric Dentistryにて発表	京畿道 高陽市 (韓国)	自:H.20.5.1 至:H.20.5.4

第30回福岡歯科大学歯学部卒業式・第20回福岡歯科大学大学院修了式

福岡歯科大学の第30回卒業式並びに第20回大学院修了式が、3月15日、本館講堂で執り行われ、本田武司学長より歯学部卒業生93人に卒業証書・学位記が手渡され、大学院修了生9人には歯学博士の学位記が授与されました。

〔表彰〕

学業成績優秀者

梅田まりこ【理事長賞】
赤司安都子【学長賞】
森永佳代子【学長賞】

学生会功勞者

坂井拓弥【学生会総務委員長】
生田匡憲【学生会体育部長】
天野浩充【学生会学術文化部会長】
弓削文彦【学生会学園祭実行委員長】
太 崇【学生会体育祭実行委員長】



【学位論文紹介】

【学位授与日:平成20年3月15日】

- ◇中尾彰宏(甲第198号) RANKL-stimulated TNF α production in osteoclast precursor cells promotes osteoclastogenesis by modulating RANK signaling pathways (RANKL刺激により破骨前駆細胞から分泌されるTNF α はRANKシグナル伝達を介して破骨細胞形成を促進する)
- ◇森永健三(甲第199号) Chronological changes in the ultrastructure of titanium-bone interfaces:analysis by light microscopy,transmission electron microscopy,and micro-computed tomography (チタン・骨界面の超微細構造の経時的変化-光学顕微鏡,透過型電子顕微鏡およびmicro-CTによる分析-)
- ◇福成史子(甲第200号)CT of cervical lymph nodes in patients with oral cancer:comparison of low attenuation areas in lymph nodes on CT images with pathological findings(頸部リンパ節のCT診断:低吸収域と病理組織像の比較検討)
- ◇徳富健太郎(甲第201号) Characterization of mandibular bones in senile osteoporotic mice. (老年性骨粗鬆症モデルマウス下顎骨の特性)
- ◇崔 旭鎮(甲第202号) Effects of bFGF on suppression of collagen type I accumulation and scar tissue formation during wound healing after mucoperiosteal denudation of rat palate (bFGF投与がラット口蓋骨面の創傷治癒過程におけるコラーゲンタイプIの蓄積と瘢痕形成にあたる効果)
- ◇大楠幸子(甲第203号) Lip and cheek resting pressure on the maxillary dentition in adults with normal occlusion (成人正常咬合者における上顎歯列に加わる安静時の口唇圧と頬圧)
- ◇岩橋輝明(甲第204号) Dynamics of lymphatic vessels during nodal metastasis of oral malignant melanoma in mice (マウス舌悪性黒色腫のリンパ節転移におけるリンパ管の動態)
- ◇大森美和子(甲第205号) Dynamic magnetic resonance imaging of cervical lymph nodes in patients with oral cancer: utility of the small region of interest method in evaluating the architecture of cervical lymph nodes (頸部リンパ節のdynamic contrast-enhanced MRI:The small region of interest methodの有用性)
- ◇小袋基史(甲第206号) Effect of diameter of glass fibers on flexural properties of fiber-reinforced composites (ガラス繊維強化型コンポジットレジン of の曲げ特性に及ぼすガラス繊維径の影響)



▲大学院修了生

第10回福岡医療短期大学卒業式・第9回福岡医療短期大学専攻科修了式

福岡医療短期大学の第10回卒業式並びに第9回専攻科修了式が3月11日、福岡歯科大学本館講堂で執り行われ、歯科衛生学科98人、保健福祉学科39人の卒業生に対し栢豪洋学長より卒業証書・学位記が授与されました。また、専攻科歯科衛生学専攻の10人に対し修了証書が授与されました。

〔学業成績優秀者表彰〕

歯科衛生学科

米本 沙織【理事長賞】
平川 恵【短大学長賞】
波多江美香【短大学長賞】

保健福祉学科

高部裕子【理事長賞】
太田政也【短大学長賞】
足立直之【短大学長賞】



第101回歯科医師国家試験結果

3月27日、厚生労働省から第101回歯科医師国家試験の結果が発表されました。全国の受験者3,295人中、合格者は2,269人、合格率は68.9%。福岡歯科大学からは今春卒業した93人及び既卒者39人、計132人が受験し、83人が合格しました。合格率は新卒で74.2%、既卒と合わせて62.9%。在学生の奮起を期待します。

第17回歯科衛生士試験結果

3月25日、厚生労働省から第17回歯科衛生士試験の結果が発表されました。福岡医療短期大学・歯科衛生学科からは卒業生ら102人が受験し、97人が合格しました。ちなみに全国の合格率は96.0%でした。

From The Alumni Association

同窓会だより

福岡歯科大学同窓会主催第21回学術講演会報告

ずばり、エンド、ペリオ、審美 — 予知性の高い治療を目指して —



3人の講師、左から徳永哲彦先生、二階堂雅彦先生、南清和先生

平成19年11月11日、福岡県歯科医師会館大ホールにおいて、福岡歯科大学同窓会主催第21回学術講演会を開催いたしました。

今回は基本に戻り、基礎的なテクニックを見直し、予知性の高いエンド、ペリオを考え、審美

歯科修復へと結びつけていく事を目標に企画し、著名な3人の先生方に講演していただきました。

宗像市開業の徳永哲彦先生は「予後から見たエンド治療の可能性と限界」というテーマで、基本的な抜髄根管の様にアピカルシートがしっかりと作れる治療から、根尖部が破壊された感染根管の治療法まで話されました。東京歯科大学臨床教授で東京都開業の二階堂雅彦先生は、「予知性と天然歯保存の両立を目指して」というテーマで、重度歯周炎と診断された場合の治療を症例を通して順序だてて説明されました。審美関係はクインテッセンス社から審美に

関する本を出版された大阪府開業の南清和先生に「審美歯科への誘い」というテーマで、ポーセレンラミネートベニアやオールセラミックスクラウンのプレパレーションを具体的に説明され、明日からの診療に役立つ内容の講演がありました。

同窓会学術では、少しでも会員の先生方の為になる講演会を企画したいと考えておりますので、何かご希望がございましたら、どしどしお申し出頂ければ期待に応えたいと思っております。

学術理事 粉 浩一 (3期)

同窓会通信 「増える女性歯科医師」

平成19年12月末、本同窓会の機関紙『背振26号』を発行しました。その中で、最近好評の『親子で頑張る同窓生』で5組の親子のメッセージを掲載しました。その写真中の親子比率を見ると、親の男女比は5:1で子弟は2:3と女子の方が上回っていました。これは、たまたまではなく、現在の在学生の学年別、男女別の表にも見られます様に、近年明らかに女子学生の比率が50%に迫る勢いの数字を示しています。筆者(ちなみに2期)の様な開学間もない古い期では、女子学生は10%前後だったと思います。表の男女合

計数で女子を割ってみると、42%になります。親世代の同窓生から見るとまさに驚きの数字であります。この状況は、本学だけでなく他大学も同様で全国的傾向にあるとのこと。

昨今の歯科界はとかく厳しさが強調されますが、そんな中、昨年7月の参院選では、我々の思いを託した石井みどり先生が見事当選され国会へ参画するに至りました。まさに、女性歯科医師の数も力も歯科界にとっては重要な意味をもっていると思われま

専務理事 武井 俊哉 (2期)

福岡歯科大学歯学部歯科学年別学生数

平成19年5月1日現在

学年	歯学部学生数
1学年	99 (41)
2学年	104 (40)
3学年	95 (44)
4学年	100 (48)
5学年	95 (40)
6学年	109 (39)
合計	602 (252)

※()は女子を示し内数
(この表は、本学HPより引用したもの)

歯科医師臨床研修修了記念パーティー

平成20年3月31日に福岡歯科大学同窓会本部と学内支部の共催で、第2回歯科医師臨床研修修了記念パーティーが行われました。法人からは、田中理事長を始め、青野常務、本田学長および石川病院長、同窓会からは宮口会長、勝俣副会長、武井専務理

事が列席し、先生方から歯科医師は生涯研修が大事であることや、歯科界の未来を切り開くのは自分自身であるなどの激励の言葉を頂き、研修を修了した若い歯科医師達にエールが送られました。

学内支部長 尾崎 正雄 (3期)



同窓会宮口会長(左端)を囲んで

卒業生トーク 「19期生、卒後10周年同窓会開催！」

吉田 朋洋 (19期)



平成9年に卒業して、はやいもので10年という年月が過ぎてしまいました。

私は、卒業してから本学歯科補綴第II講座(現:咬合修復学講座冠橋義歯学分野)に在籍し卒後臨床研修を受け、その後福岡市内で勤務医を経て、平成17年に福岡市中央区清川にて「吉田ともひろ歯科医院」を開業しました。

卒後2~3年までは、同級生が福岡市内やその近辺に勤務されている方が多く、会合やセミナーなどで会う機会が多かったのですが、さすがに10年ともなるとそれぞれが独立されたり、地元に戻られたり、結婚して子育てに、と皆さんご多忙な日々で、なかなか会う機会が少なくなってきました。(結婚式などで仲良かったメンバーで集まるくらいでしょうか!しかし、それも最近は少なくなってきました。)

そこで、丁度卒業10周年という機会ですので、同窓会を開催します。

今回は、正式な会ではないので19期生という型組みにはとらわれず、共に学び、共に遊んだ仲間ということで5年、6年の学生時代に同期だったメンバーに呼びかけております。

連絡先が分かっている方は案内状を郵送しているのですが、当時と住所が変わられた方が多く、連絡がつかない方も多数います。周りで連絡がつく方はお誘い合わせのうえ、学生時代の昔話で盛り上がり、大いに語り合ひましょう。沢山の参加をお待ちしております。

日時:平成20年7月20日(日)開場 午後5時、開始 午後5時半

場所:ホテルオークラ福岡 1階コンチネンタルレストラン

(福岡市博多区下川端町3-2)

会費:12,000円(予定)

なお、ご不明な点は、下記までご連絡をお願いします。

幹事:吉田朋洋(診)092-522-5222(携帯)090-8413-0416、090-8667-8657

吉田ともひろ歯科医院(福岡市中央区清川1-11-1)

キツカケづくり



中国友好の動物にちなんで「パンダ小児歯科医院」と命名し、故矢田育男先生の意味を継ぎ開業し、新規指導も終わり約1年半が過ぎ去りました。最近は運動もせず、休みにデパ地下廻りが趣味で隠れメタボにならない様に頑張っています。

NHK「関口知宏の中国鉄道大紀行」にはまり、歴史や自然に彩られた路線は中国の大地を自ら走り始めた気持ちにさせてくれますし、色々なヒトの語らいは感動させてくれるものがあります。これは同窓生の皆様との出会いもまた同じように思えてくるからです。メールなどの普及により言葉豊かに、自由な学び方が見えてきたように思えます。

中国で大人気のアニメ、ドラえもん、のび太の中国語は「康夫」といい、優秀でもない学生時代を「ドラえもん」（当時の先輩や同級生）が助けてくれて一人前の歯科医師になった私としてはのび太は他人には思えません。

いつも変わらず無計画さの続く今日この頃、患者さんの生の声を大切にしていくことが必要であることを実感し、あらゆるところでヒトと出会うことで知名度が上がったように思えます。

アピール・参加・チャレンジ・会うことに意義があり、具体的な成果はいつでも、より努力を強調していく。特殊な関係でもなく、本音で話し合い、議論できる場を作ること。根強い感情を和らげることが先決と思い、一歩ずつ踏み出し、言いたい事を言い合いお互いの気持ちをぶつけ合うそのような普通の関係を築いていきたいものです。

学生時代を振り返ると何でも初めが肝心、信頼をもって何事にも接すること、自力を育てるチカラを身につけること、何でも思い通りにはいかない、ヒトを引き寄せる努力を自然に身につけていくことが大事ではないかと思えます。意思の力？1分、1秒ヒトとの出会いは、とても有用であり、ヒトのちょっとした親切さはとてもありがたいと思うことです。

大学と開業医とのコラボレーションが今後出来ればと考えます。

パンダ小児歯科医院(福岡市東区唐原)

劉 中憲(14期)=文

写真上=東区唐原パンダ小児歯科医院のデモとデミが玄関でお出迎え
写真下=左からパートナーの任学哲(大学院平成10年度修了)、筆者とスタッフ



日々奮闘



皆さん、こんにちは。私は16期卒業の古田といいます。学生時代にはサッカー部に所属し、6年間サッカーと学業?に明け暮れる毎日を過ごしていました。卒業後は、旧歯科保存学第Ⅱ講座に在籍させて頂き、栢 豪洋教授(現福岡医療短期大学学長)ご指導のもと、歯周病学を5年間、学ばせていただきました。大学院時代には、栢 豪洋教授、永井 淳助教授ご指導のもと、分子レベルでの歯周病の研究・解明に日々明け暮れ、物事の考え方を学びました。今となっては何事にも代えられない貴重な経験をさせていただいたと感謝しております。その後、一般開業医にて5年間臨床経験を積み、平成16年5月に福岡市東区にて、念願のMyClinicを開業いたしました。また開業にあたって、数多くの同窓の諸先輩方の心強いアドバイスを頂き、感謝しております。現在、スタッフ総勢8名で日々奮闘しております。

さて、開業いたしまして早4年の月日がたちますが、日々の臨床において、様々な症例にでくわします。3年前より様々なスタディーグループに参加させていただいておりますが、各先生方の症例を拝見させていただくと、サイエンスに基づく治療計画と治療順序の大切さ、特に規格化された基礎資料収集の重要性を再認識させられます。根拠に基づいた炎症とカリエスのコントロール+咬合力のコントロールの確立ができていないと、顎口腔系の健康維持を持続できないと実感しています。やはり、個々の症例の資料の見直しが大切だと思います。

まだまだ若輩者ではありますが「日々これまた精進」という言葉を座右の銘として、毎日の臨床に励んで行きたいと思っておりますので、これからも諸先輩方の御指導、御鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

医療法人 成悠会 ふるた歯科医院(福岡市東区下原)

古田 修一(16期)=文

写真上=診療室
写真下=ドクター 1人、歯科衛生士7人で頑張っています。



保護者からのメッセージ FROM PARENTS



石田 吉廣=文

「意識変革の時」

九州歯科大学のバレー部の先輩で病態構造学分野教授の谷口邦久先生が福岡歯科大学に赴任された当時、よくアパートに遊びに行きました。田んぼの中にぽつんと大学とアパートがありました。先生の部屋では、福歯大1期生のバレー部員が青春を熱く語っていたのを思い出します。今は各地区の歯科医師会で活躍されています。息子もこの先生方の後輩としてバレー部に所属していますが、一世代違えば運動部気質も変わってくるのかなあと感じる時があります。

歯科界を取り巻く環境の厳しさは当時とは雲泥の差があります。

4月に診療報酬の改定がありました。若干の診療報酬の増点はあるものの、まるめ、包括化等で減点された感があります。今までは、診療室に通院できる健康な患者さん対象の診療がほとんどでした。高齢化社会に伴い、何らかの病気、機能

障害のある人達が増えてきます。国は「自宅で死を迎える文化」の土台作りをしているようです。今回の改定では、後期高齢者を在宅又は施設において歯科医療面から支援する診療所を「在宅療養支援歯科診療所」と位置付け、病院から在宅までの継続した口腔管理を推奨しています。また、在宅患者の情報を医師、看護師、薬剤師と共有し、協同で指導することで、在宅療養を多職種と連携して支援をしていく仕組みを作ろうとしています。歯周病と全身疾患との関連においても、医科との連携は不可欠です。全身の中の口腔を論じることのできる尚一層の知識を身に付けねばなりません。福歯大のHPに載っていた、田中理事長、本田学長、北村学生部長の特別寄稿『「医歯一元論」で「知の統合」を』が実現できれば、歯科界の未来は明るいと思います。今後の歯科界の牽引役としての福岡歯科大学の教育に期待します。



身吉 徳雄=文

「初心、忘るべからず」

私は、歯科医ではないので本誌への出稿を躊躇しましたが、せっかくの機会でありますので寄稿することにしました。

ある雑誌に全国の歯科診療所の数がコンビニの店舗数よりはるかに多いとか、歯科医師の5人に一人がワーキングプア状態に置かれているとか、ショッキングな記事が書かれていました。私が勤める金融業界は「競争社会」の典型であります。灯台下暗しといいますが歯科医師がこれほど厳しい状況にあるとは本当に驚きました。

患者側の選択意識の高まりと、医療技術の進歩等が相俟って、治療の選択肢も広がっています。一昔前に比べると格段に高度な歯科治療が受けられ、私たち患者にとっては大変幸せで贅沢な時代になったと思います。今日のような高度な歯科治療を提供し、患者の信頼を得るためには、日々の研究・研鑽と生涯学習が必要だと知人の歯科医から聞き、

大変な職業だと痛感しています。

学生たちは、全員が「立派な歯科医師」を目指し入学してきます。月日が経ってもその志を強く持ち頑張るって欲しいものです。

すばらしい教授・講師陣と多彩なクラブ活動等充実した学生生活を送る教育環境は十分整っていると思います。青春の6年間は大変貴重な時間です。ただ漫然と過ごすのはあまりにももったいないと思います。

『初心、忘るべからず』を胸に刻み、5年後、10年後に振り返った時、悔いの残らない学生生活を期待します。

最後になりましたが、大学教授をはじめ各先生方、さらには大学を支えていただいている多くの学校関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

福岡歯科大学の更なる発展を心より祈念いたします。

田中健藏理事長に 私大協から 永年功労役員表彰

平成20年3月27日に開催された日本私立大学協会理事会・総会において、田中健藏理事長が協会の役員として永年に亘り、私立大学の振興とその使命達成に専念し、教育の充実発展に盡力されたとして、永年功労役員として表彰されました。



私大協・大沼会長から表彰楯を受ける田中理事長

福岡歯科大学父兄後援会会長に中 四良氏が就任

3月8日に開催された福岡歯科大学父兄後援会理事会・評議員会合同会議において、会長の改選が行われ、第16代会長として中四良氏が選任されました。



＜略歴＞昭和58年福岡歯科大学卒業（第5期）

＜役職＞福岡市歯科医師会早良支部理事

＜抱負＞皆様の御子弟の修学を全うさせるために、大学と父兄後援会が共に協力しあって学生の支援をしていく所存です。そのためには、支部懇談会で皆様のご意見を多く伺いたいたので、ご協力の程よろしくお願いたします。

短大保健福祉学科父兄後援会会長に 水上 幸子氏が就任



4月8日、福岡医療短期大学の入学式に引き続いて開催された保健福祉学科父兄後援会総会において、昨年度副会長を務められた水上幸子氏が父兄後援会会長に選任されました。同氏は「皆様のご協力の下、会長として精一杯努めさせていただきたい。」と抱負を語られました。

～今年も学園内を満開の桜が彩りました～



栢 豪洋短大学長、再任

2月19日に開催された第400回理事会において、3月31日をもって任期満了となる福岡医療短期大学長の選任が審議され、栢 豪洋・現学長の再任が決定しました。任期は平成20年4月1日から3年間です。

学生部長、情報図書館長、再任

2月19日に開催された第400回理事会において、福岡歯科大学役職教員(学生部長、情報図書館長)が次のとおり決定しました。任期については、学生部長は平成20年4月1日から1年間、情報図書館長は平成20年4月1日から2年間です。



学生部長
北村憲司
分子機能制御学
分野・教授



情報図書館長
谷口省吾
麻酔管理学
分野・教授

新任教員紹介

つるが えいち
敦賀 英知 准教授



生体構造学講座
機能構造学分野

略歴

北海道大学歯学部卒。同大学大学院歯学研究科修了。北海道医療大学歯学部助手、福岡歯科大学重点配置教員・准教授を経て、平成20年4月1日付准教授就任。博士(歯学)。北海道出身。

抱負

学生の皆さんへ

せっかく勉強するのなら楽しませよう。基礎系の科目は、将来、臨床の場で、論理的に物事を考えていくトレーニングにもなります。わからないことがあったら気楽に相談に来て下さい。

まちだ ひろゆき
町田 弘幸 准教授



口腔保健学講座
口腔健康科学分野

略歴

日本体育大学体育学部卒、福岡歯科大学助手、講師を経て、平成20年4月1日付准教授に就任。鹿児島県出身。

抱負

スポーツ、コミュニケーショントレーニングの授業を通して、学生自身の体力及びマナーの向上、そして、創造性・協調性・多様性などを理解し、円滑なコミュニケーションのとれる学生を育てていきたい。

定年退職者の挨拶

「福岡歯科大学生への私の期待」



機能構造学分野 教授 佐藤 敦子

私は昭和50年4月に九州大学より口腔解剖学第一講座に講師として入局以来、33年間本学に奉職させていただき、この3月31日をもちまして定年退職を迎えました。

この間、歯の解剖学(歯型彫刻実習)、組織学総論(組織学実習)および口腔組織学(口腔組織学実習)が主な担当教科でした。口腔は飲食をし、会話をし、歌を歌う等の人の基本的な生理機能および社会的機能を営む器官です。私はこの生理機能について、口腔を体全体の一部としてみるがいかに大切であるかを伝えることを教育の基本理念として参りました。折りしも、福岡歯科大学では近年、口腔医学の創設に向けて邁進しているところです。今日の学生さん達が将来、このことを基として、専門職としてのプライドと責任感のもと、地域の人々のQOLの向上に寄与し、真の意味で社会に貢献できるよう期待して止みません。また、開学当時は1割にも満たなかった女子学生も、今日では半数に達しようとしています。将来、ぜひ福岡歯科大学生え抜きの女性教授が誕生することを願っています。

これまでの長い年月にわたる、田中理事長先生、本田学長先生を始め諸先生方のご指導、ご支援に心より感謝申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご活躍、福岡歯科学園の更なるご発展を祈念し、退職のご挨拶とさせていただきます。

「定年退職を迎えるにあたって」



生化学分野 教授 黒水 健治

米国留学から帰国して昭和48年10月1日に本学に赴任して以来30有余年、一途に一般教養課程の「化学」の授業、実習を担当して今日に至っています。長期にわたる教員生活の中、親子二代の受講生も数多くを数えます。その間、理事長、学長をはじめ、多くの教職員の皆さんに恵まれ、また、退職・退任された教員、職員の方々にも大変お世話になりました。

授業、実習ではカリキュラムの変更に伴って授業内容を改善・変更して「わかる」授業、実習を心がけてやってきました。初期の内容、変遷を見返しますと今昔の感があります。学生あつての教員という思いで、今も昔も学生諸子との語らい、交流に積極的に参画し、その中から数多くのことを教えられました。班、部活、県人会の学生諸子から、殊に、成績不良の諸子から多くを学んできた思いがします。

生来、コンパ、語らいの大好き人間です。コンパや宴会に誘ってください。そして、道端で出会ったとき、また時には、大学のすぐ傍の拙宅に立ち寄って声をかけてください。退職後は心身ともに健康で心楽しく生きていきたいものと願っています。

平成21年度入学試験日程

福岡歯科大学					福岡歯科大学大学院 歯学研究所	
区分	推薦入試日程	一般入試A日程	センター試験利用入試	一般入試B日程	一次募集	二次募集
募集人員	約15名	約46名	約10名	約10名	18名	
出願受付期間	H20.11.4(火)~11.13(木)	H21.1.5(月)~1.29(木)	H21.1.19(月)~2.12(木)	H21.2.10(火)~3.5(木)	H20.7.28(月)~8.15(金)	H21.1.26(月)~2.13(金)
試験日	11月15日(土)	2月1日(日)	2月14日(土)	3月10日(火)	8月21日(木)	2月19日(木)
合格発表日	11月20日(木)	2月5日(木)	2月18日(水)	3月12日(木)	9月4日(木)	3月5日(木)
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/col ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/colhp E-mail:gakumu@college.fdcnet.ac.jp					

【福岡歯科大学AO (Admission Office方式) 入学試験】

本学のAO入学試験制度は、歯科医学を学び、歯科医師を目指す意志が明確で、次世代の歯科医学をリードできる、若く、有能な人材を広く全国から募集する制度です。また、AO入学試験合格者のうち、入学試験成績上位3名の者に対して、入学初年度から卒業までの6年間学術奨励金を支給します。(但し、2年次以降は継続条件有)

募集人員	出願受付期間	試験日	合格発表日
約15名	H20年8月11日(月) H20年9月5日(金)	1次:9月13日(土) 2次:10月18日(土)	1次:10月3日(金) 2次:10月23日(木)

※詳細は福岡歯科大学学務課入試係(TEL.092-801-1885)までお問合せください。

福岡医療短期大学・歯科衛生学科						
区分	推薦入試(指定校)	推薦入試(公募)	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	AO入試
募集人員	約10名	約10名	約15名	約5名	若干名	約40名
出願受付期間	H20.11.1(土)~11.6(木)	H20.11.1(土)~11.6(木)	H21.1.5(月)~1.29(木)	H21.2.2(月)~2.18(水)	H21.3.2(月)~3.9(月)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	11月8日(土)	11月8日(土)	2月1日(日)	2月20日(金)	3月12日(木)	
合格発表日	11月14日(金)	11月14日(金)	2月6日(金)	2月27日(金)	3月16日(月)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 歯科衛生学科入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/Hyg ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp E-mail:gakumu@college.fdcnet.ac.jp					

福岡医療短期大学・保健福祉学科								
区分	推薦入試(指定校)	推薦入試(I)(公募・社会人)	推薦入試(II)(公募・社会人)	一般入試A日程	一般入試B日程	一般入試C日程	一般入試D日程	AO入試
募集人員	約10名	約5名	約5名	約5名	若干名	若干名	若干名	約15名
出願受付期間	H20.11.1(土)~11.6(木)	H20.11.1(土)~11.6(木)	H20.12.1(月)~12.11(木)	H21.1.5(月)~1.29(木)	H21.2.2(月)~2.18(水)	H21.3.2(月)~3.9(月)	H21.3.16(月)~3.23(月)	詳細は入試係までお問い合わせください。
試験日	11月8日(土)	11月8日(土)	12月13日(土)	2月1日(日)	2月20日(金)	3月12日(木)	3月25日(水)	
合格発表日	11月14日(金)	11月14日(金)	12月18日(木)	2月6日(金)	2月27日(金)	3月16日(月)	3月27日(金)	
問合せ先	〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 保健福祉学科入試係 TEL.092-801-0923(直通) FAX.092-801-4473 ●ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/Wel ●携帯電話用ホームページURL http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp E-mail:gakumu@college.fdcnet.ac.jp							

※保健福祉学科は、平成21年度入試から入学定員(募集人員)を変更しました。

オープンキャンパス

開催校	実施日
福岡歯科大学	7月26日(土)・8月30日(土)
福岡医療短期大学	第1回 5月17日(土)
	第2回 6月15日(日)
	第3回 7月27日(日)
	第4回 8月 8日(金)
	第5回 8月23日(土)
	第6回 9月20日(土)

入学希望者をはじめ、ご家族や高校・予備校の先生方を対象に福岡歯科大学、福岡医療短期大学において「オープンキャンパス」が左記の日程で行われます。お誘い合わせの上、お気軽にご参加下さい。(問い合わせは各入試係まで)




福岡歯科大学「指模型作製」 短大保健福祉学科「先輩からのメッセージ」

歯の無料相談、開催

「歯の衛生週間」にちなみ、平成20年度「歯の無料相談」が、福岡歯科大学および医療歯科総合病院主催で下記のとおり開催されます。多くの方のご参加をお待ちしています。

記

日時:平成20年6月8日(日) 10時~17時
会場:西新エルモールプラリバ(福岡市早良区西新)
福岡市営地下鉄空港線「西新」駅下車すぐ

※歯に関する何でも相談、ブラッシング指導などを行います。
日頃気になる口臭や口の中のことを聞いてみよう!



昨年の「歯の無料相談」